



# インフルの季節到来！ 予防はしっかりと！

## 感染症発生動向速報

(平成 30 年第 48 週分・11 月 26 日～12 月 2 日)

平成 30 年 12 月 5 日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

### 《 インフォメーション 》

#### ●インフルエンザ

今週、インフルエンザの報告数が定点あたり 1.54 人となり、先週 (0.63 人) から増加しました。流行開始の目安である定点あたり 1 人を上回ったことから、富山県ではインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます (図参照)。

今年 9 月～現在 (12 月 5 日) までの全国のインフルエンザウイルス検出状況は、A (H1)pdm09 が 156 件 (72.6%)、A (H3) が 53 件 (24.7%)、B 型が 6 件 (2.79%) となっています。

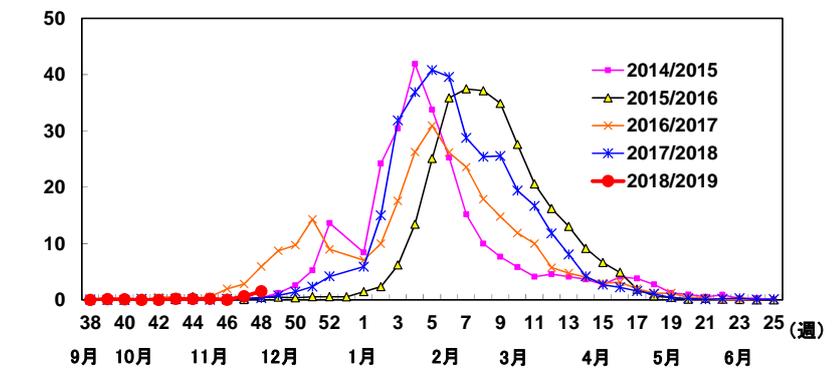
インフルエンザは 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せてのどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

インフルエンザウイルスは口や鼻などの粘膜から体の中に侵入します。数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛み等のインフルエンザの症状が出現します。多くは 1 週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする場合もあります。

現行のインフルエンザワクチンはインフルエンザウイルスの感染を完全に抑える働きはありません。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化を予防することに関しては効果があるとされています。

日本では、インフルエンザは例年 12 月～4 月頃に流行し、1 月末～3 月上旬に流行のピークを迎えますので、ワクチン接種を受ける際は早めの接種を心がけましょう。

過去5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 7 件 (①20 歳代、女性 ②40 歳代、女性 ③60 歳代、男性  
④70 歳代、男性 ⑤⑥ともに 80 歳代、男性 ⑦90 歳代、男性)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (90 歳代、女性)  
水痘 (入院例) 1 件 (10 歳未満、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	5.76 (↑)	4.86
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97 (↑)	1.83
3 位	インフルエンザ	1.54 (↑)	0.63
4 位	咽頭結膜熱	1.34 (↓)	1.45
5 位	手足口病	0.97 (↓)	1.38
6 位	R S ウイルス感染症	0.93 (↓)	1.28

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第48週 平成30年11月26日～平成30年12月2日）

分類	疾患	今週報告分（第48週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核				2	5	7	11	13	55	22	88	189	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病							3				1	4	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症							4	1	8	4	24	41	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		12	16	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	2	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	6	2	6	19	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2		2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症		1				1	3	3	8	4	17	35	
	水痘（入院例）					1	1	2		2	1	3	8	
	梅毒									1		12	13	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳								2			9	12	
	風しん									4	1	5	10	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		13	1	3	57	74	2,232	1,841	3,492	2,455	5,458	15,478
				2.60	0.08	0.43	3.56	1.54						
RSウイルス感染症		3	1	6	6	11	27	79	42	302	134	740	1,297	
		0.75	0.33	0.75	1.50	1.10	0.93							
咽頭結膜熱		5	1	22	8	3	39	248	81	323	65	332	1,049	
		1.25	0.33	2.75	2.00	0.30	1.34							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	10	23	5	17	57	171	140	642	231	896	2,080	
		0.50	3.33	2.88	1.25	1.70	1.97							
感染性胃腸炎		31	32	54	5	45	167	1,342	915	1,487	253	3,069	7,066	
		7.75	10.67	6.75	1.25	4.50	5.76							
水痘				4		10	14	23	6	105	62	138	334	
				0.50		1.00	0.48							
手足口病		2	4	4	14	4	28	14	20	126	185	147	492	
		0.50	1.33	0.50	3.50	0.40	0.97							
伝染性紅斑				1			1	7	4	96	44	49	200	
				0.13			0.03							
突発性発しん		1	1	2	4	7	15	63	51	221	58	165	558	
		0.25	0.33	0.25	1.00	0.70	0.52							
ヘルパンギーナ		7		1			8	129	117	333	106	286	971	
		1.75		0.13			0.28							
流行性耳下腺炎						2	2	7	11	22	4	44	88	
						0.20	0.07							
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎			1			1	2	18	27	5	7	59		
			0.50			0.14								
細菌性髄膜炎												5	5	
無菌性髄膜炎												2	2	
マイコプラズマ肺炎	1					1	8	4	6	6	11	35		
	1.00					0.20								
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16		
インフルエンザによる入院患者（*）										3	1	4		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

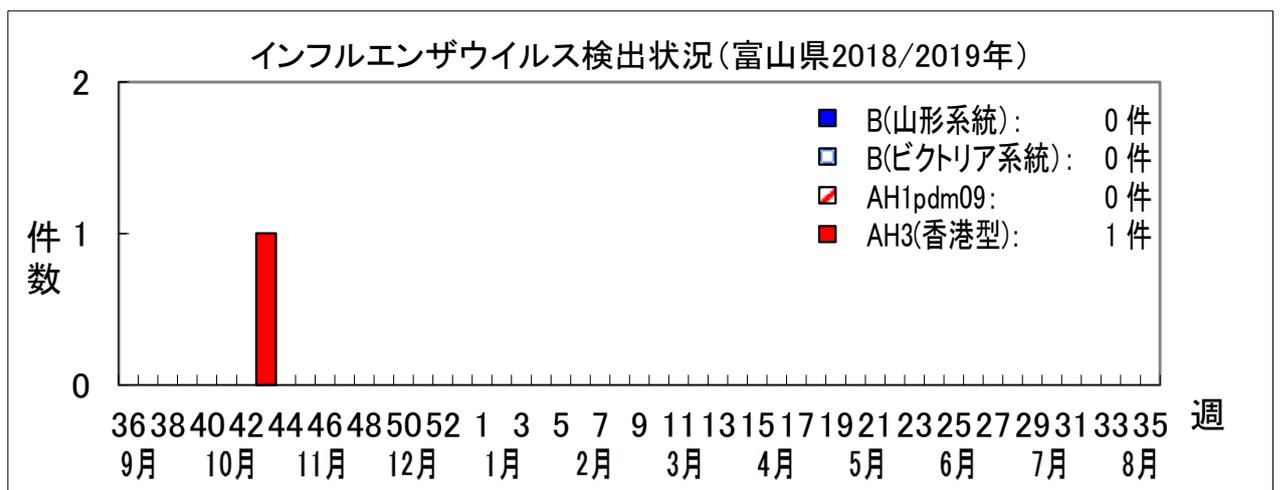
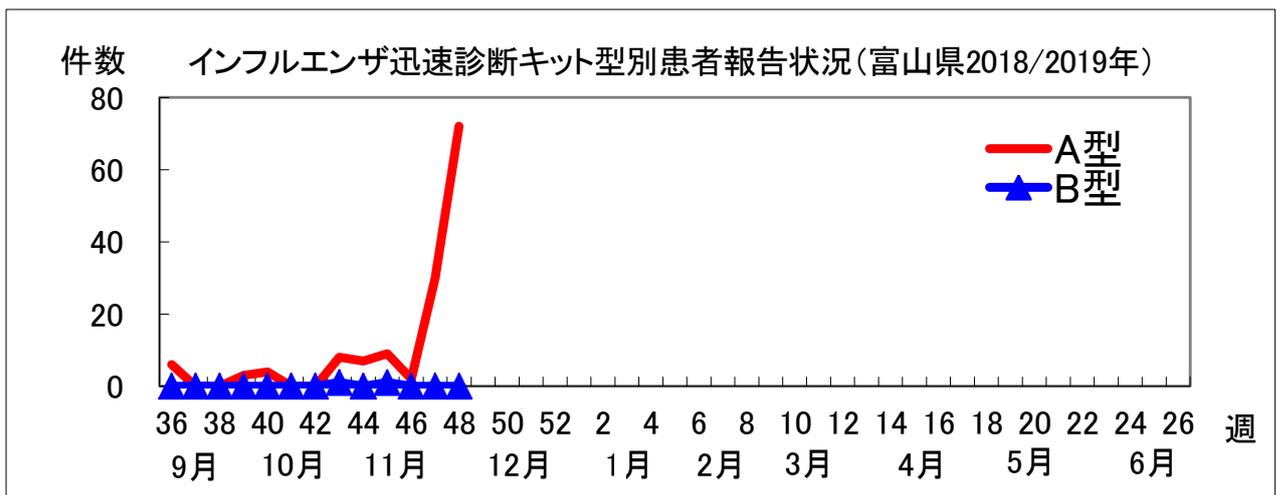
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が97.3%となっています。

### 第48週(11/26~12/2)：富山県 1.54人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	4 / 5	13	0	0	13
高岡	1 / 13	1	0	0	1
砺波	2 / 7	3	0	0	3
富山市	10 / 16	55	0	2	57
富山県	17 / 48 <sup>※1</sup>	72	0	2	74
富山県累計(2018年36週~)		141	2	6	149

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が17か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



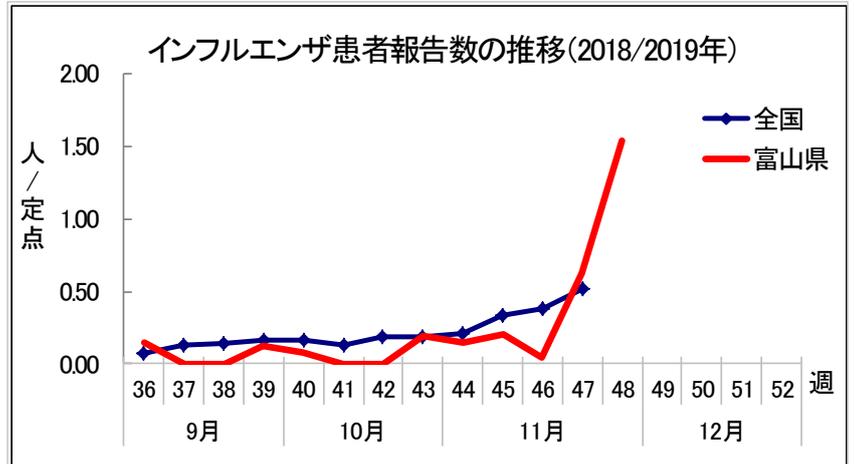


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 48 週 (11/26~12/2) : 富山県 1.54 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (2.60)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (0.43)、富山市 HC (3.56)

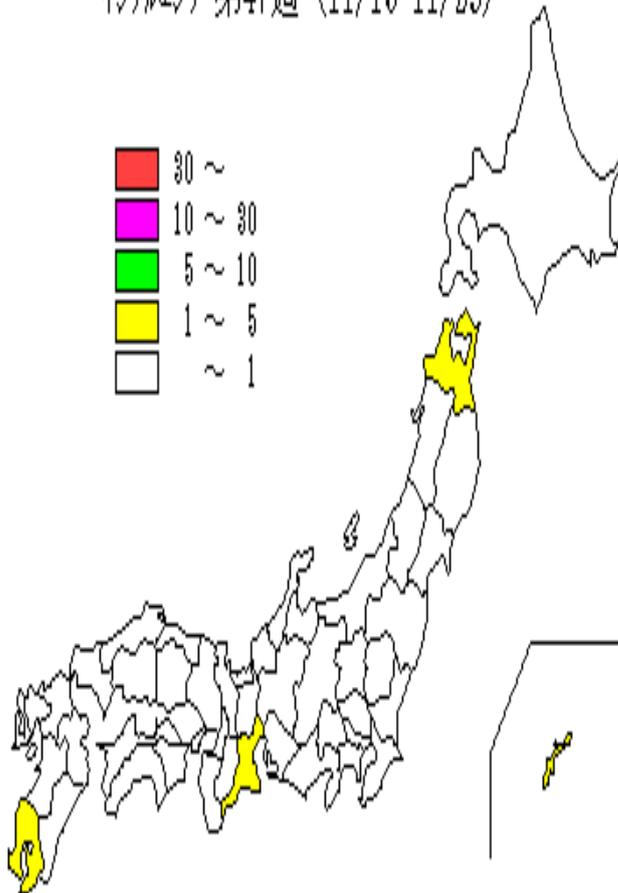
県では定点医療機関当たり 1 人を超え、流行期に入ったとみられます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 47 週 (11/19~11/25)

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 0.52 人となり、前週の 0.38 人より増加しました。33 道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第47週 (11/19-11/25)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.63	滋賀県	0.30
青森県	1.18	京都府	0.36
岩手県	0.28	大阪府	0.57
宮城県	0.38	兵庫県	0.46
秋田県	0.06	奈良県	0.78
山形県	0.02	和歌山県	0.51
福島県	0.19	鳥取県	0.59
茨城県	0.67	島根県	0.21
栃木県	0.12	岡山県	0.39
群馬県	0.10	広島県	0.51
埼玉県	0.84	山口県	0.22
千葉県	0.48	徳島県	0.14
東京都	0.50	香川県	0.83
神奈川県	0.55	愛媛県	0.12
新潟県	0.34	高知県	0.00
富山県	0.63	福岡県	0.74
石川県	0.23	佐賀県	0.21
福井県	0.63	長崎県	0.66
山梨県	0.12	熊本県	0.46
長野県	0.41	大分県	0.09
岐阜県	0.38	宮崎県	0.26
静岡県	0.40	鹿児島県	1.18
愛知県	0.72	沖縄県	1.03
三重県	1.33	全国	0.52